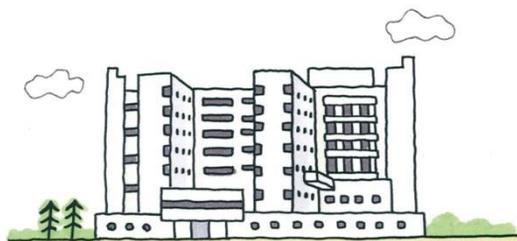


患者さんパンフレット

四国がんセンター
婦人科



ドセタキセル・カルボプラチン・
ベバシズマブ（アバスチン）
（mDC+Beva）療法を受けられる方へ

さま

主治医

受け持ち看護師

2019年12月10日 作成
2024年2月21日 改定

私たち医療スタッフは

- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようお手伝いいたします

- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

またよりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- 入院生活と治療内容について理解できる
- 治療中の注意事項について理解できる
- 心身ともに治療を受けられる状態にある

<時間>

<予定>

11:00

入院

- 【入院後に以下のことを予定しています】
- 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
 - 検温、血圧測定、身体測定

12:00

昼食

- 血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図
- 入院前の生活状況や身体状況の聞き取り

治療の流れや注意事項について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「関節痛・筋肉痛、浮腫、爪の障害」のページ参照

<お薬>

他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします

<食事>

食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
特に制限はありません
基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります

18:00

夕食

<活動>

制限はありません

21:30

消灯

<睡眠>

眠れないときはお知らせください

薬剤師からの治療の流れや副作用の説明があります
ベバシズマブ（アバスチン）の注意点について
詳しく記載された冊子をお渡しします



医療スタッフの目標

- 安心して治療が受けられるよう支援します



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- ・転倒しない

<時間>

<予定>

6:00 洗面、歯磨き
検温、血圧測定

7:30 朝食

9:30 点滴のスケジュールは次のページをご覧ください
※抗がん剤の点滴開始5分後で、血圧・脈拍を測定します
点滴中の移動は、ゆっくり行いましょう

12:00 昼食

14:00 検温、血圧測定
点滴が終了後、シャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

18:00 夕食

19:00 検温、血圧測定

21:30 消灯

尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は、1回では十分
流しきれないため、トイレでの排泄後は
フタをして水を2回流しましょう



医療スタッフの目標

- ・抗がん剤点滴中や副作用症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

点滴スケジュール

9:30～ 点滴を始めます

1本目 生理食塩水100mlの点滴を行います

2本目 生理食塩水50ml + アレルギー予防の薬が入った点滴を15分間で行います

3本目 生理食塩水250ml + ドセタキセル（抗がん剤）が入った点滴を約1時間で行います

4本目 生理食塩水250ml + カルボプラチン（抗がん剤）が入った点滴を約1時間で行います

5本目 生理食塩水100ml + アバスチン（抗がん剤）が入った点滴を
・初回：約90分
・2回目：約60分
・3回目～：約30分 で行います

6本目 生理食塩水50mlの点滴を約5～10分で行います
終了後、針を抜きます

- 針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、唇やのどが腫れた感じがする、頭が痛い、気分が悪いときは、我慢をしないでお知らせください
- 関節痛、筋肉痛が強いときや吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
- 食事はめん類やフルーツなどに変更もできます



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう

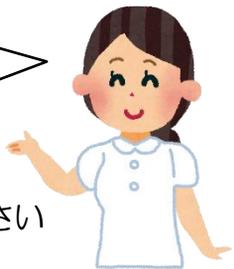
★毎週金曜日に体重測定をします

副作用と対策について説明します
治療2日目：脱毛について
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髪編）」のパンフレット参照



尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は、1回では十分流しきれないため、トイレでの排泄後はフタをして水を2回流しましょう

- 関節痛、筋肉痛が強いときや吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
- 食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



いつでも看護師にお知らせください

MEMO 気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
• 副作用症状の早期発見に努めます



今日の目標

- ・副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
10:00	検温 血圧測定
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう

- ★治療後4～6日目に血液検査があります
- ★毎週金曜日に体重測定をします

副作用と対策について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照

- ・関節痛、筋肉痛が強いときや吐き気が強いときは、追加でお薬を使うことができます
- ・食事は、めん類やフルーツなどに変更もできます



いつでも看護師にお知らせください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用症状の早期発見に努めます

治療後6日目～退院前日 月 日～月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00	起床	★治療後4～6日目に血液検査があります ★毎週金曜日に体重測定をします
7:30	朝食	
10:00	検温、血圧測定	
		副作用と対策について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレット参照
12:00	昼食	退院後の日常生活について説明します（ 月 日） 「退院後の日常生活について」のページ参照
18:00	夕食	
21:30	消灯	

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・副作用の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします 2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください 次回外来予約票をお渡しします
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「がん化学療法を受けられる方へ」のパンフレットについて
再度確認し、次の治療に向けて体調を整えておきましょう



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安が残らないよう支援します

「暖だん」では脱毛や爪障害に関連した製品を展示しています



ウィッグ製品展示室で、定期的に協力メーカーのアドバイザーによる相談会を開催しています

がん治療による脱毛や爪傷害に関連した製品の試着もできます

お気軽にお越しください



アドバイザーによる相談会の開催日は
医療スタッフにご確認ください

ドセタキセルの特徴的な副作用について

●関節痛・筋肉痛

1. 定義

筋肉や関節に痛みが生じることをいいます



2. 筋肉痛・関節痛の時期

投与後3～5日後に症状が現れ、症状のほとんどが一時的なもので、数日以内におさまってきます

3. 症状

腰や腕、背中や肩の筋肉に痛みを感じたり、ひざ・ひじの関節などに痛みを感じる場合があります

4. 治療方法

つらいと感じるときは、痛み止めの薬（内服や湿布）を使用して症状の軽減をはかります

5. 予防方法（日常生活の注意点）

- 入浴などで体を温めたり、適度なマッサージで筋肉をほぐし、血行を促進してみましよう
- 同じ姿勢でいると筋肉や骨の萎縮をまねきやすいので、無理のない適度な運動を心がけると良いでしょう

ドセタキセルの特徴的な副作用について

ふしゆ

●浮腫（むくみ）

1. 定義

浮腫とは、一般的にいう「むくみ」のことです
いろいろな原因で身体の細胞と細胞の間に水分が貯まることをいいます
顔や手足の皮下に水分が貯まった状態を指すことが多いですが、体内に水分が貯まる腹水や胸水も浮腫の一種です

2. 浮腫の種類

浮腫には症状のあらわれ方によって、全身性浮腫と局所性浮腫があります

全身性浮腫

- ・全身にあらわれます
- ・原因：心臓や腎臓の機能低下、栄養失調、貧血、薬剤などがあります

局所性浮腫

- ・身体の限られた部分にあらわれます
- ・顔だけ、片方の手だけ、膝周囲というように限局的なむくみです
- ・原因：ねんざ、傷口からの感染、リンパ浮腫などがあります



3. 抗がん剤治療に伴う浮腫の症状

- ・抗がん剤治療の経過中（1か月以降）に浮腫があらわれることがあります
- ・抗がん剤とその副作用（腎機能低下・貧血など）を原因とした全身性浮腫
なのではじめに顔や手足にあらわれることが多いです
- ・ときに急激な体重増加を伴い、動いたときの息苦しさや疲れやすさといった症状
があらわれることもあります
- ・ドセタキセルを使用した治療では、硬いむくみといわれる特有の浮腫を生じる
ことがあります
- ・この浮腫はドセタキセル3～4コース以降に強くみられることがわかっています
- ・また、婦人科がんの手術でリンパ節郭清を行っている方は、抗がん剤治療に
伴う浮腫をきっかけに、足にリンパ浮腫を発症することがあります

4. 治療方法

個人差はありますが、治療が終了し時間が経てば自然に改善することが多いです
体重増加や浮腫が強くなる場合は、利尿剤が処方されることがあります
リンパ浮腫を発症した方は、医師の指示によりリンパ浮腫の治療を行います

5. 対処方法（日常生活の注意点）

- 皮膚を清潔にし、保湿剤を使用して乾燥を防ぎましょう
- 手足のむくみを感じたら枕やクッションで足や手を10から15cm程度高くして休みましょう
- 長時間同じ姿勢で座ったまま、立ったまましているとむくみが強くなります
適時、肩回し、手足・指の曲げ伸ばし、足首を回すなどの関節運動をしましょう
- 毎日決まった時間に体重を計りましょう
3～7日で3kg以上増えるようであれば主治医に相談しましょう
- 婦人科がんの手術でリンパ節郭清を行っている方は、リンパ浮腫予防行動を行いましょう（婦人科手術パンフレット「リンパ浮腫について」参照）



ドセタキセルの特徴的な副作用について

●爪の障害

1. 定義

抗がん剤により皮膚の乾燥が強くなったり、爪の発育に影響を及ぼしたりすることで、爪の変形が生じやすくなることです

2. 症状

爪の変形：爪の表面がでこぼこする、亀裂、変色、二枚爪など

症状は抗がん剤治療開始後、2～3コース目以降に出現することがあります

3. 対策と日常生活の注意点

- 乾燥すると爪が割れやすくなるので、ハンドクリームなど保湿クリームを爪や爪の周りに塗りましょう
- マニキュア等も活用しましょう
爪の変色をカバーするとともに、もろくなった爪を保護してくれる役割があります
※爪が変色しているときはマニキュアを重ね塗りをするとより目立ちにくくなりますが、1週間に1回は清潔の保持と爪の観察のため一度落として塗り直しをしましょう
※爪の表面がでこぼこしていると、引っかかったり傷つけやすくなりますので、マニキュアやベースコートを塗るとひび割れなどから爪を守ることができます
- 爪が白くなって浮いてくることがあります
手袋の着用やテープでの保護など日常生活に合わせて使用しましょう
(テープ保護の必要な場合は看護師がお伝えします)
- 爪に亀裂が入ったり変形している時は気づかないうちに引っ掛けて、爪がはがれてしまうことがあります
爪は伸ばしすぎないようにしましょう
- 爪切りで切ると爪が割れやすくなるので、爪専用のやすり（ネイルファイル）を使う方が良いでしょう
お風呂あがりなど、爪が柔らかいときに行いましょう

- 爪の切り方《写真参照》
爪の角（黄色い○印）の部分を皮膚の先の長さまで伸ばし、四角い形に切りそろえます

ポイント

爪の角を切りすぎると深爪により炎症を起こしやすいので注意！



手の指



足の親指

- 爪の周りが痛んだり、腫れや浸出液のあるときにはマニキュア等は避け、看護師や主治医に相談しましょう



退院後の日常生活について

★活動

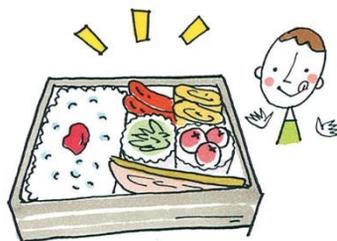
無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は、マスクを着用し、帰宅時にうがい・手洗いをしましょう



活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

★食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



★清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさ強い場合は、入浴を控えタオルなどで拭くようにしましょう
歯磨き・うがいをして、口の中を清潔に保ちましょう
(歯ブラシは、小さく毛の柔らかいものを使用しましょう)

★性生活について（パートナーの方も一緒に読みましょう）

【パートナーとの関係について】

治療を受けた後は、性生活に様々な変化が見られることがあります
退院後、パートナーとの関係に不安を持つ方も少なくありません
自分の気持ちを伝えたり、治療前の事にこだわらず話し合うことが大切です



★仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

★お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



★その他

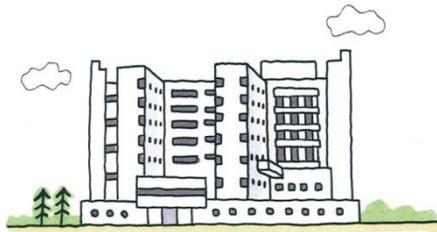
虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内の不具合はないか確認しましょう

治療開始後、歯科治療が必要なときは歯科受診について、医師にご相談ください

インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



- ◆ 38.0℃を超える熱が出たとき
- ◆ 嘔気があり、水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- ◆ 体を起こすこともできないほどの強いたるさが続くとき
- ◆ 激しい腹痛があるとき
- ◆ 激しい頭痛があるとき
- ◆ 出血が止まらないとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



ドセタキセル・カルボプラチン・ベバシズマブ（アバスチン）
（mDC+Beva）療法を受けられる方へ